

2015年「ハロウィーン」行事への参加予定者は24% 女性/20・30代を中心に全性年代で前年より増加の見込み 「ハロウィーン」普及派71%、「仮装」容認派65%

株式会社リクルートライフスタイル(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健)に設置された「食」に関する調査・研究機関「ホットペッパー グルメ リサーチセンター」(<http://grc.hotpepper.jp/>)は、「ハロウィーン」時期の飲食行動や「ハロウィーン」や仮装の普及に関する消費者の意識についてのアンケートを実施しました。その結果を発表いたします。

要約

- 2015年「ハロウィーン」行事参加予定者は24%。前年より増加の見込み・・・P3-4
 20代男女では30%以上が参加予定
 →「ハロウィーン行事（飲食、パーティー、イベント）」参加予定は24%。
 最多は女性/20代で35%が参加予定。
 →前年の参加実績は20%。全性年代・圏域で2015年の参加予定が
 前年の参加実績を上回る。
 →参加予定のうち最多は「食事主体の店での飲食、パーティー」（12%）。
- 前年は参加者20%のうち「仮装して参加」は7%・・・P5
 →「仮装派」は参加者全体の約1/3とまだ少数派。
 →女性/20代（参加者26%中、仮装者12%）、女性/30代（参加者24%中、
 仮装者11%）では、半数近くが仮装。
- 「ハロウィーン」普及派、「仮装」容認派が過半数・・・P6-7
 →「ハロウィーン」習慣の普及には71%が賛成。「仮装」には65%が賛成、
 いずれも賛成が反対を上回る。
 →賛成理由TOP3は「本来の意味でなくても日本風に楽しめばよい」（48%）、
 「はめを外す機会としてよい」（42%）、「子供のためのお祭りとしてよい」（36%）。

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press/>

調査概要と回答者プロフィール

- ◎調査名 外食市場調査(2015年8月分)
- ◎調査方法 インターネットによる調査
首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査(外食市場調査)の中で、ハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベントの参加状況や参加意向、仮装経験、ハロウィーンに対する考え方などを聴取。
- ◎調査対象 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

■事前調査

- ①調査目的 本調査の協力者を募集するために実施
- ②調査時期 2015年7月23日(木)~2015年7月31日(金)
- ③調査対象 首都圏、関西圏、東海圏に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
- ④調査内容 本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
- ⑤配信数 285,732 件
- ⑥回収数 35,788 件
- ⑦本調査対象者数 16,179 件

- ◆本調査対象者の割付について
- ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくすために、割付をおこなって回収した。
 - ・性年代別10区分×地域別25区分(首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分)=250セルについて、平成25年人口推計(総務省)に基づき割付をおこなった。
 - ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

■本調査

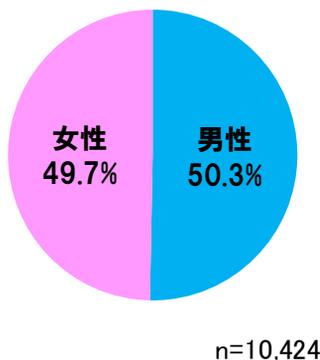
- ①調査方法 ・事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。
- ②調査期間 2015年9月1日(火)~2015年9月8日(火)
- ③配信数 13,681 件
- ④回収数 10,495 件 (回収率 76.7 %)
- ⑤有効回答数 10,424 件 (首都圏 5,275 件、関西圏 2,704 件、東海圏 2,445 件)

※回収された票のうち、自由回答コメントから、主旨に合わない判断された票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1か月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

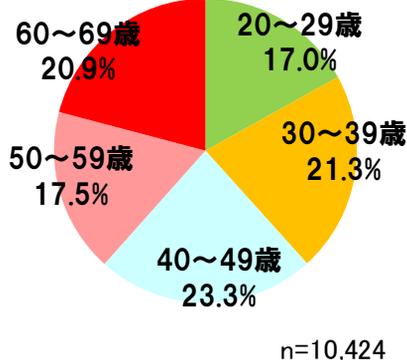
- ◆集計方法について
- ・本調査結果は、平成25年人口推計(総務省)における割付(性年代別10区分×地域別25区分=250セル)別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計をおこなっている。
 - ・補正後のサンプル数は次の通り。
3圏域・計 10,424 件(首都圏: 5,911 件、関西圏: 2,919 件、東海圏: 1,594 件)

◆回答者プロフィール(ウェイトバック後)

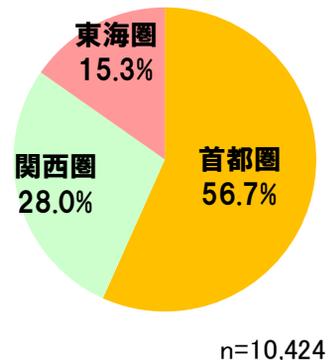
■性別



■年代



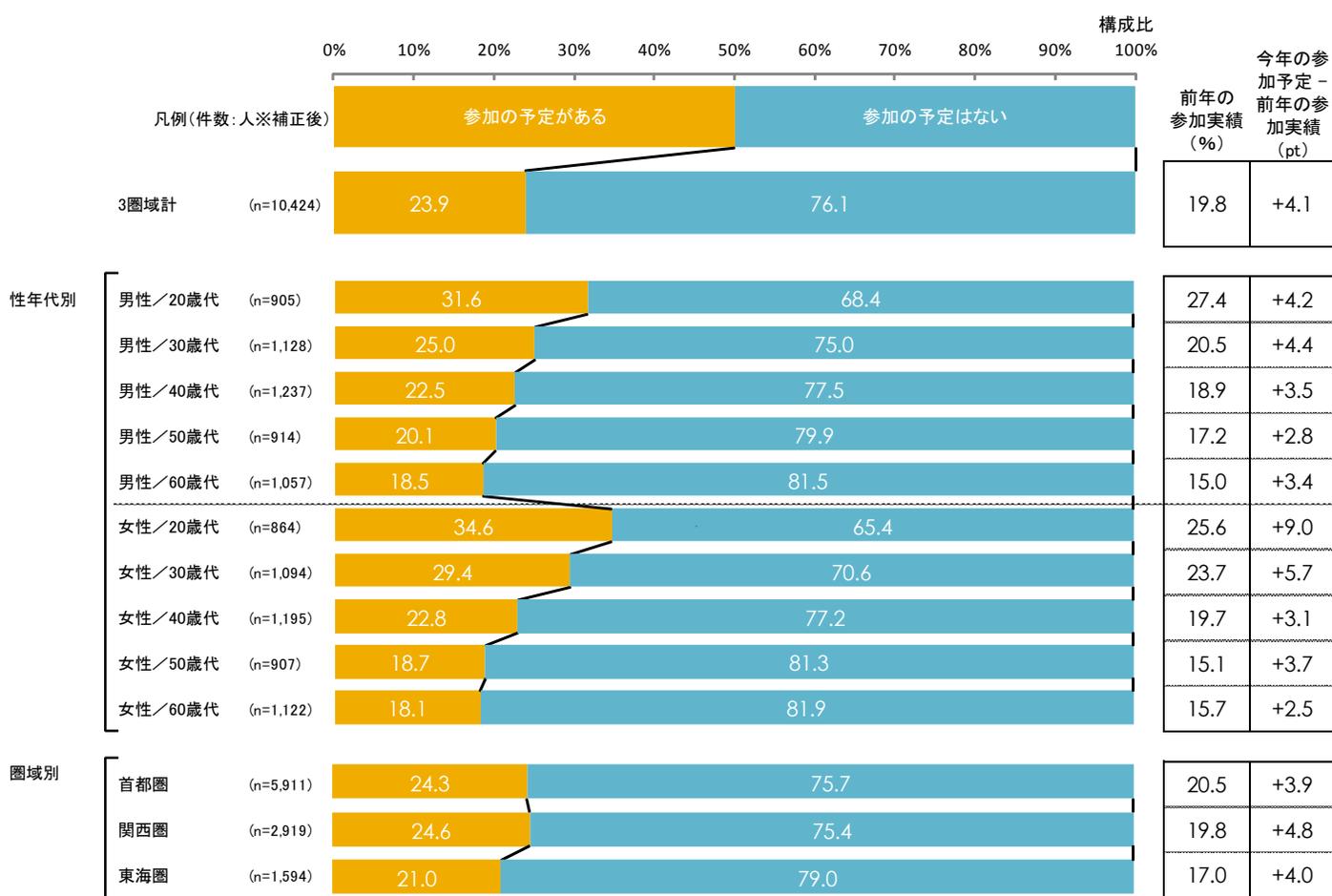
■居住地



1. 2015年ハロウィーン行事参加予定者は24%、前年より増加の見込み 女性/20歳代・30歳代を中心に全性年代で増加傾向

ここ数年、仮装やコスプレ習慣を伴って盛り上がってきているハロウィーン。2015年の参加予定については3圏域計で23.9%と前年の参加実績19.8%を大きく上回った。全性年代で参加予定が前年参加実績を上回り、特に女性/20歳代参加予定者が34.6%（前年実績+9.0pt）、女性/30歳代参加予定者が29.4%（前年実績+5.7pt）で差が大きかった。圏域別では、前年の参加実績は首都圏が20.5%と3圏域中最多であったが、2015年の参加予定では関西圏が24.6%（前年実績+4.8pt）と最多の見込み。

■ ハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベントについて、今年の参加予定（全体／単一回答）



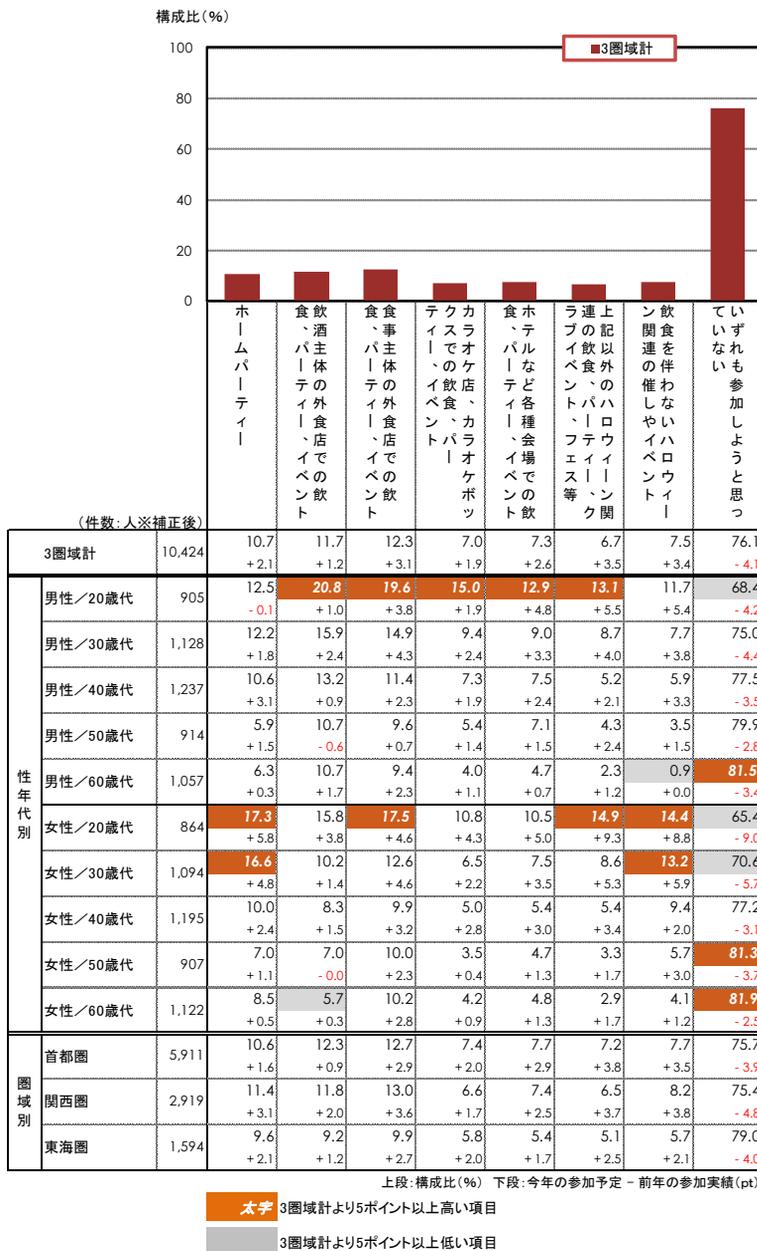
※「参加の予定がある」:『今年参加したいハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけしようと思っているもの」「企画はしないが参加しようと思っているもの」で、いずれかのパーティー、イベントに「参加したい」と回答した人を集計

※「参加の予定はない」:『今年参加したいハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけしようと思っているもの」「企画はしないが参加しようと思っているもの」ともに「参加の予定はない」と回答した人を集計

2. 参加予定の中身、最多は「食事主体の店でのパーティー、イベント（12%）」

どのような内容のハロウィーン行事への参加予定があるかという設問に対しては、「食事主体の外食店での飲食、パーティー、イベント」が最多の12.3%、2位に「飲酒主体の外食店での飲食、パーティー、イベント」が11.7%とほぼ同程度の回答を集め、3位に「ホームパーティー」が10.7%の参加予定であった。前年の参加実績との差で見ると、女性/20歳代・30歳代での「ホームパーティー」「その他の飲食、パーティー、クラブイベント、フェス等」「飲食を伴わない催しやイベント」や、男性/20歳代での「その他の飲食、パーティー、クラブイベント、フェス等」「飲食を伴わない催しやイベント」で、今年の参加予定と前年参加実績の差が大きい。

■ハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベントについて、今年の参加予定 ＜参加の予定があるもの＞（全体／複数回答）

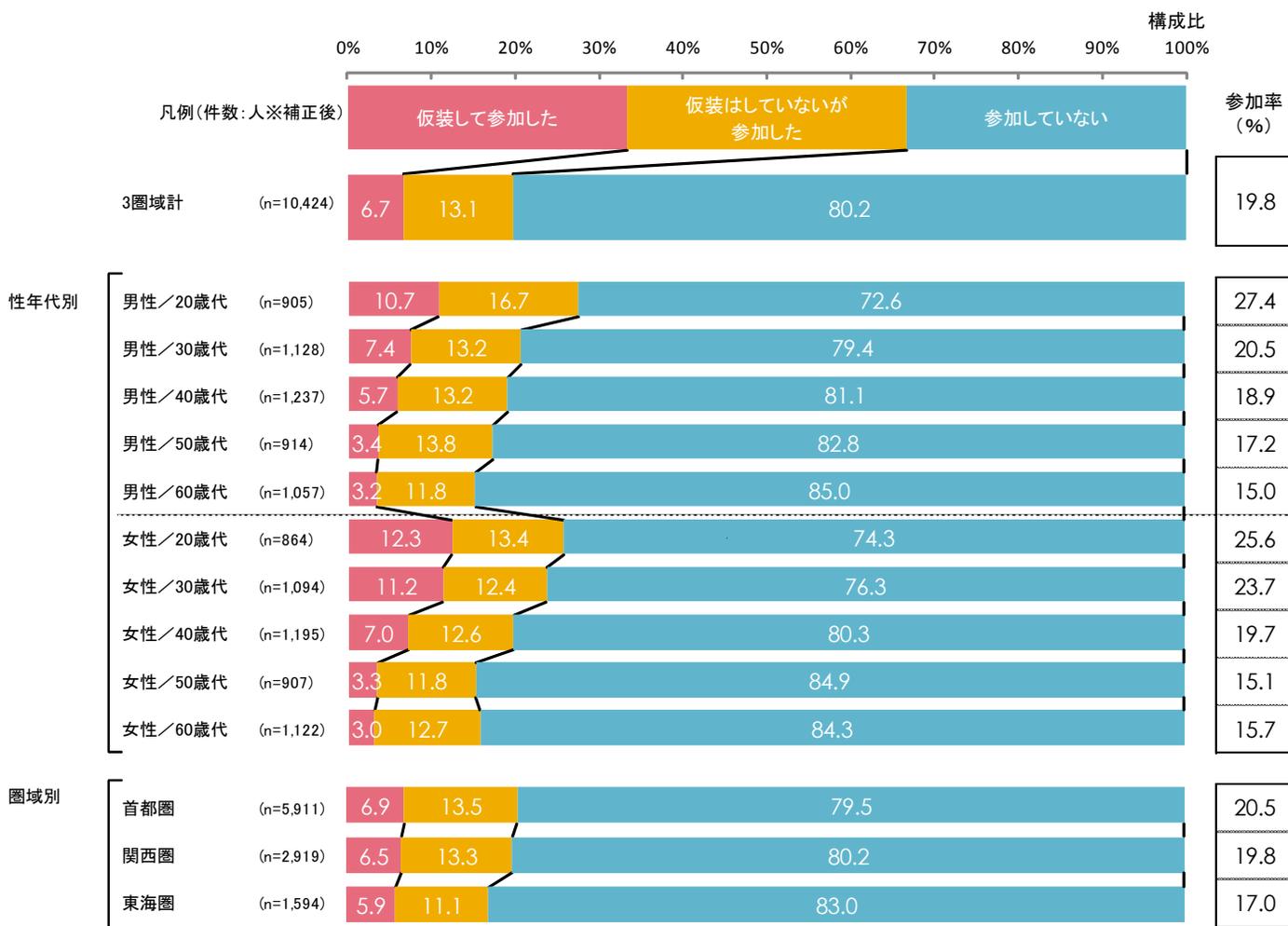


※『今年参加したいハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけようと思っているもの」「企画はしないが参加しようと思っているもの」で、それぞれのパーティー、イベントに「参加したい」と回答した人を集計

3. 前年は参加者20%のうち「仮装して参加」は7%とまだ少数派 女性/20歳代・30歳代では、半数近くが仮装で参加

前年のハロウィーン行事における仮装の状況については、全体で19.8%が参加したうち、仮装で参加したことがある人は6.7%と約1/3にとどまった。性年代別でみると、女性/20歳代（参加者25.6%中、仮装者12.3%）、女性/30歳代（参加者23.7%中、仮装者11.2%）では、半数近くが仮装で参加しており、他より割合が高い。圏域別では首都圏の仮装率が6.9%と、3圏域中で最も高かった。

■前年のハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント参加率と、 仮装して参加した割合（全体／複数回答）



※「仮装して参加した」:『前年参加したハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベントのうち、仮装して参加したもの』で、いずれかのパーティー、イベントに「仮装して参加した」と回答した人を集計

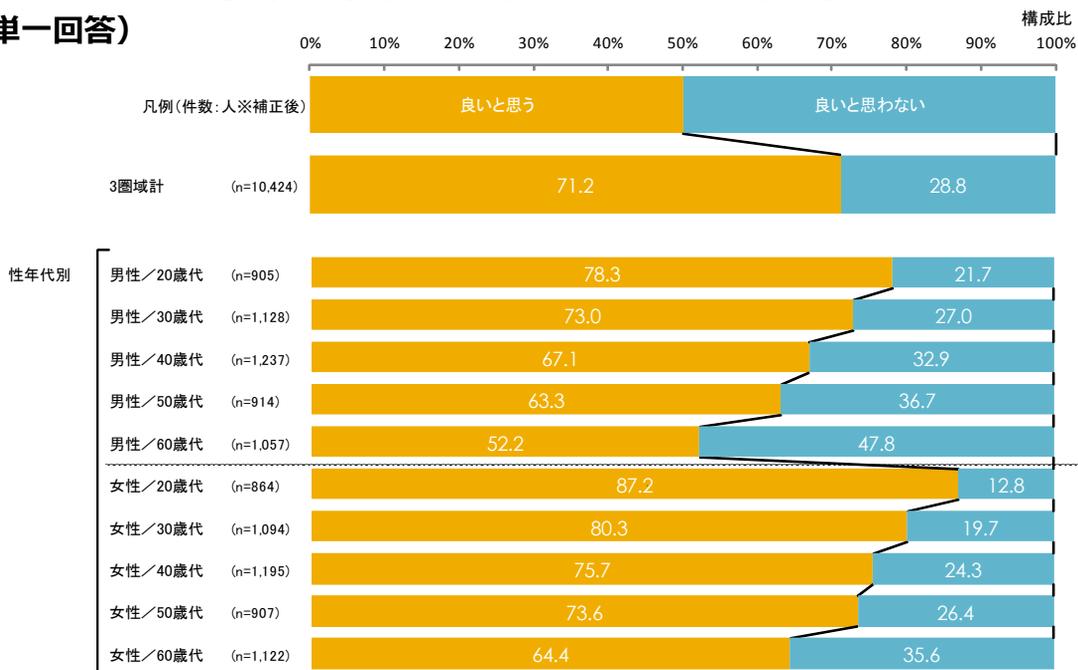
※「仮装はしていないが参加した」:『前年参加したハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけたもの」「企画はしていないが参加したもの」で、いずれかのパーティー、イベントに「参加した」と回答した人から、「仮装して参加した」と回答した人を除いて集計

※参加率:「仮装して参加した」と「仮装はしていないが参加した」の合計値

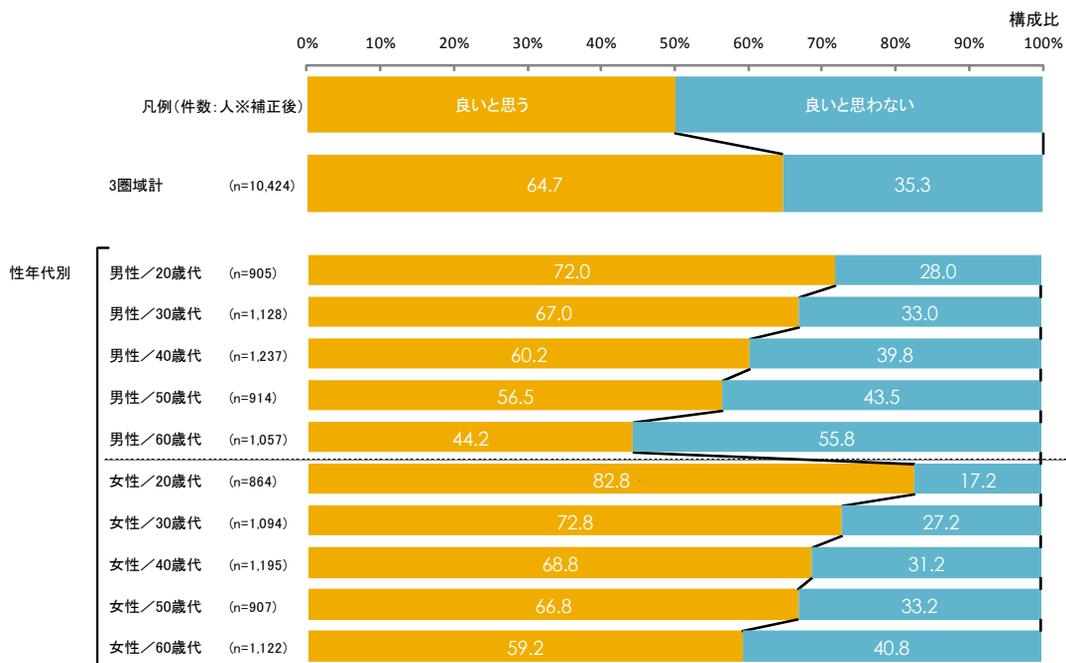
4. 「ハロウィーン」普及派、「仮装」容認派が過半数を大きく上回る

日本でのハロウィーンの普及と仮装の是非について良い/良くないの2択で質問。結果、普及については71.2%が、仮装についても64.7%が「良いと思う」と回答し、普及・容認派が反対派を大きく上回った。年代別には、若年層ほど普及・容認派が多い結果となっている。

■ハロウィーンについての考え/日本で祝ったり、広まったりすることについて (全体/単一回答)



■ハロウィーンについての考え/仮装することについて (全体/単一回答)



5. 「本来の意味でなくても日本風を楽しめばよい」48%

ハロウィーン普及・仮装容認については、「日本風を楽しめばよい」が47.7%で最多、2番目に「はめを外す機会」が42.0%、さらに「子供のためのお祭りとして」36.0%までが賛成理由のTOP3であった。「日本風を楽しめばよい」は男女/60歳代で多く、男性/20歳代・30歳代では「はめを外す機会」「男女の出会いの場」の評価、女性/20歳代では「はめを外す機会」以外に「積極的に仮装したい」「飾り付けが楽しい」「若者のためのお祭りとして」などが他の性年代よりも高かった。

■ 「ハロウィーンについての考え」の理由<日本で祝ったり、広まったりすることについて「良いと思う」/仮装することについて「良いと思う」と回答した人>（複数回答）

